



# いせはら生涯学習 ボランティア協会ニュース

第 287号 2025年 1月号

会長 梶田 紀子

## 新年のご挨拶

会長 梶田紀子

### あけましておめでとうございます!!

優美で神々しい富士山を仰ぎながら迎える新年は最高ですね。伊勢原の大山も初詣の人々で華やかに賑わっていることでしょう。

最近自己中心的な人々が増え、自国最優先政府が政権を握り、戦争や地域紛争も激しくなり、世界情勢が混沌としつつあります。そんな中、昨年の『ノーベル平和賞』を受賞した「日本被団協」の方々が長年に亘り訴え続けた「核軍縮・核兵器廃絶」の運動がその労苦と共に認められたことは本当に嬉しく、日本国民として誇るべき重大ニュースでした！このことが世界に警鐘を鳴らしてくれることを切望します。

さて、私ども「いせはら生涯学習ボランティア協会」は、今年で25周年を迎えます。また伊勢原市との協働事業「いせはら市民大学・楽しい講座」は、20周年です。「社会から得たものは社会に還元しよう」というモットーで始められた先輩諸氏のご努力は勿論、ご関係の多くの方々のご支援・ご協力に支えられて、今日があります。感謝の念に堪えません。

本年も1月25日(土)には「いきいきシニア伊勢原まつり」を楽しく開催します。地元の中学生による元気潑刺としたブラスバンドで幕開けします。講談師の演目「太田道灌」などもあります。ご来賓の方々からは新年のご挨拶を頂戴する予定です。

市民大学の講座としては、地域経済の現状と展望(商工会)、ジェンダー・ウェルビーイング、アマダ見学、人権セミナー、修了式記念講演と盛り沢山用意しています。

また3月15日(土)にはパネルディスカッション形式で『25周年を祝う会』を開催する予定です。皆様参加をお待ちしております

昨年

は能登半島の大地う辛いことから始まりました。暗いニュースも多々したが、「禍福はあざなえるとし」、今年は平穏な年であることを期待したいと思います

↑挿絵は中谷さんの作品  
我等市民大学も「知ろう・学ぼう・始めようー生き活きと暮らすために」のスローガンの下、役員一同励んでまいります。



**さあ、今年の第一歩を 心新たに 明るく 踏み出しましょう!!**

## 第6回 いせはら市民大学講座

### 小澤家とアクアクリーンセンターを見学して

11月21日に小澤家とアクアクリーンセンターの見学に行ってきました。曇り空でしたけど雨が降らなくて良かったです。最初に西富岡の総合運動公園の近くにある小澤家に行きました。私は今回見学に行くまで、こんな身近な場所に「国登録有形文化財」に登録されている小澤家があることを全く知りませんでした。すぐ下の道路は、花火大会や公園緑化祭り、防災訓練などの総合運動公園で行われている様々なイベントに参加した時に何十回も通っていたのになあーと思い改めてビックリしました。

29代目だというご当主の説明を聞いて家の中にも入らせてもらいました。広い土間がありました。それを見て、こんなに広くはなかったけど昔の自分の家にも土間があったかなあーと思い出しました。とてもなつかしい気持ちになりました。ご当主は、おっとりとした方で話の仕方もとても穏やかでした。私個人の感想ですけど、ほんの一時ではありましたが、こういう方とお会いできてとてもうれしかったです。

見学の際に私達がくぐった表門は、もともとは平塚宿の本陣にあった物をこちらに移築した物です。と言われて、大きい文化財も長い年月の間には移動する事があるんだなあと思えました。平塚と伊勢原は昔から

人々の行き来があったんだなあとも思いました。

次にアクアクリーンセンターに行きました。ここは山坂、雑木林の中の小澤家とは立地条件が全く違う場所でした。とても広い平地で見通しもとても良く、のどかな田園地帯の中にありました。職員の方の案内で反応槽を中心に公共下水道から流入して来る汚水が処理場の中を流れていく順に歩きながら各々の場所で説明を受けました。要点を良くつかんでのとてもわかりやすい説明で、大いに参考になりました。また、「ここが伊勢原市の施設の中で一番電気を使っている所だから節電を！」と言われているので「色々工夫をして節電の努力をしているんです。」と現場での苦労話もして下さり良い社会勉強になりました。これからの私生活の向上にも役に立つ良い内容の見学会でした。

バスの乗り心地も良く充実した気持ちで帰着しました。(5班 杉浦晃弘)



## 第7回 いせはら市民大学講座

### 『絵手紙初心者講座』

師走に入った12月7日(土)の午後1時30分から、中央公民館1階の展示ホールに於いて、講座生21名が参加して実施されました。

絵手紙は見たことがあるだけの後期高齢年齢になったばかりの小生は描くのは初めての経験、初心者の小生は「水彩絵の具」で入門。

講師は、長年各所で指導されておられる「高裕子先生」(以下「講師」と称す)と、2名の助手の方。既に役員によって2名ずつ着席できるように準備してくれた長机の上には講座生自らが用意してきた画材となる、好みのリンゴやミカン枝の付いた柿、中には高級葡萄のマスカット等の果物や、人参やサツマイモ等の野菜の他に、講師が絵具と絵画用の筆、ダーマトグラフというデッサン(下絵)用の黒鉛筆、そして官製の「染みないハガキと染みるハガキ」が3枚ずつ「初めての絵手紙」なる葉を用意してくれました。

ほとんどが初体験の講座生は、緊張した表情で持参してきた画材を前に着席し開始。会長の挨拶と講師紹介の後、講師が緊張をほぐすよう

に笑顔で、事前に作成し配布された「初めての絵手紙」の葉から説明をしてくださいました。

1. 子供でも大人でも描きたいときに描ける“手紙”である。
2. 作品でなく「人の心を伝える信書」である。
3. プロではなく素人・庶民の文化。趣味であり、コミュニケーションである。
4. 個性を尊重し活かし、十人十色の味わいある彩に満ちあふれているのが「絵手紙」である。
5. 文章は基本黒色の縦書きで、絵に重ならない。
6. 写生ではなく、実物をよく観察して自分の感性で表現する。
7. 「絵手紙の心」が伝わらないので写真や雑誌の書き写し、画家等の真似はしない(自分の感性を大切に!)

基本の説明を受けた後、早速小生は画材に「バナナ・枝のついた柿・リンゴ」の3点を選び、3点一緒、柿、リンゴをそれぞれ3枚のハガキに、葉の注意書き通りに画材をよ〜く観察して、ダーマトグラフでデッサンし、絵の具で彩色これが我ながら自画自賛!? 上出来で小生の絵手紙



講座は大成功!でした。気を良くして継続するか否か迷っています。

(6班  
T.A)



左：「絵手紙  
初心者講座」  
受講生の作品



右：中谷さん  
の作品

### 第 20 期市民大学の講座予定（続）

- ⑧ 1月18日（土）13時30分より中央公民館にて伊勢原市商工会会長の高橋宏昌氏と他お二方による座学です。「市の地域経済の現状と展望」というテーマです。北口再開発は？
  - ⑨ 1月25日（土）13時30分より中央公民館 展示ホールにて第22回いきいき伊勢原まつりを開催します。今回初めて、中学生による吹奏楽の演奏で幕が上がります。どなたでもご参加ください！
- 補講③ 1月30日（木）9時より中央公民館 展示ホールにて伊勢原市の人権セミナー講座です。

### 役 員 会 議 予 定 表

No.	月 日		開催曜日		開始 時間	行 事 内 容	該当者	場 所
			番号	曜日				
1	1	9	第 2	木曜	13:30	事務局会議	該当者 全員	中央公民館 3階会議室B
					14:00	役員会議		
2	1	23	第 4	木曜	13:30	事務局会議	該当者 全員	中央公民館 3階第一学習室
					14:00	役員会議		
3	2	13	第 2	木曜	13:30	事務局会議	該当者 全員	未定
					14:00	役員会議		
4	2	27	第 4	木曜	13:30	事務局会議	該当者 全員	シティプラザ 社協会議室
					14:00	役員会議		